

# ぶらり諏訪塾 ⑨ はためく幟は親和の書

春や秋、近隣の神社に幟が立ち、祭が近いことを知らせます。幟の多くはその神社名が中央に書かれ奉納者や年代、書家の銘が記され幟の歴史をさかのぼることができます。

諏訪地方でひととき目を引く幟が湖南の習焼神社例祭に立つ「野分大明神」の大幟と「野明大神」の小幟で習焼神社が古くは野分・野明などと呼ばれていたことを示しています。

この種の幟は安永9（1780）年3月に奉納され江戸深川に住む三井親和（1700〜1782年）が81歳の時に腕を振るい、

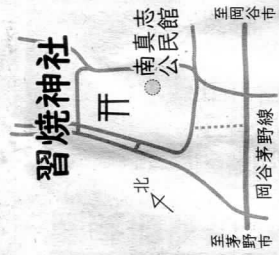
篆書で書きました。篆書は中国秦時代の最も古い書体で難語ではありませんが、力強く太い書体で人気があります。この大幟は揮毫原書があり平成10年に裏打ち修復され保存されていて貴重です。

三井親和の父は三代高島藩主諏訪忠晴の弟盛泰の家臣で主人に従い江戸に出ます。そして深川本所の役宅で親和は83歳で没するまで武家であり書家として活躍します。三井家は旧上町の園遺から小路を入った現在の上町公民館周辺に屋敷を構えていましたが、諏訪には住まなかったようです。

習焼神社の例祭日は4月22日



4月22日の例祭日には、江戸時代の書家、三井親和が書いた幟（のぼり）がはためく習焼神社



流鏝馬社前にて射札が行なわれ、草餅が供えられ草餅祭とも呼ばれています。

＝随時掲載

詳しい場所などの問い合わせは、諏訪塾事務局（電話070・833・2107）へ。

ぶらり諏訪塾の冊子は

- ・ 諏訪市観光案内所  
(JR上諏訪駅内)
- ・ れすとらん割烹いずみ屋  
(諏訪市諏訪)
- ・ 書店「三書堂」  
(諏訪市米込)
- ・ すわ大書情報センター  
(諏訪市博物館内)
- ・ 諏訪書店(通販のみ)  
57・0997)
- ・ 柏屋カフエ&ギャラリー  
(諏訪市中洲神宮寺)  
で販売中です。

今回の筆者



浦井みち子さん

立川流建築彫刻研究者でスポーツインストラクターとしても活動しています

習焼神社